

体験乗船に参加される方への注意事項 乗船される方に周知してください。

※別紙「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について」もご覧ください。

～事前の準備～

禁止事項	他の人や船に危害を加えたり、海洋を汚染したりする行為は禁止です。喫煙、飲酒もできません。このような行動があった場合は、以降の活動を中止するとともに、今後のご利用を制約させていただきます。
服装	○動きやすく、汚れたり濡れたりしても良い服装でお越しください。 ○海上では陸上より寒く感じる場合がありますので、普段より1枚多めに着てきてください。ウインドブレーカー等をご用意いただけますとより安心です。 ○日差しの強い日は、熱中症予防のために帽子をご用意ください。 また、風で飛ばされないよう、注意してください。 ※ノースリーブ、スカートは危険が伴いますので着てこないでください。
履き物	○船上は水しぶき等により滑りやすくなっています。滑りにくく汚れても良い 運動靴 で、かかとを踏まずにしっかりと履いてください。 ※革靴、ハイヒール、サンダルは危険が伴いますので履いてこないでください。 クロックスなども危険ですので、禁止とします。
手荷物	○必要最小限の手荷物をお願いします。 ○貴重品は各自あるいは団体で管理いただきますようお願いいたします。 ※防犯上、火気、危険物、刃物等の持ち込みは固くお断りします。
日焼け防止	長袖、長ズボン、帽子の着用、日焼け止めの準備などの対策をおすすめします。
水分補給	○各自でお茶やスポーツドリンク等を用意してください。 ○自動販売機はありませんが、船内にウォータークーラーがあります。 ※炭酸飲料は船酔いを増幅させることがありますので、気をつけてください。
雨具	船内に雨具の準備はありません。必要な場合は合羽等をご準備ください。 ※航行中に傘をさすことはできません。
髪の毛	長い方は、汚れたり、機器に絡まったり、挟まったりしてケガをするおそれがありますので、必ず束ねてください。
船酔い防止	次の状態は船酔いを起こしやすくなります。 ○寝不足 ○空腹 ○満腹 ○炭酸飲料を飲んだ直後 ○体調不良 ○すでに乗り物酔いや二日酔いをしている状態 前日は、飲み過ぎ食べ過ぎをせず、しっかりと睡眠を取ってください。 当日は、軽い食事をとり、空腹、満腹の状態を避けてご乗船ください。 乗り物酔いをしやすい方は、乗船30分～1時間前に酔い止め薬を飲んでおかれると効果的です。エチケット袋を常備しておかれると、急な嘔吐に対応できるため、安心です。 ※船は多かれ少なかれ揺れるものです。天候が良くても、波があると揺れる場合もあります。船内には酔い止め薬等の船酔いを防止する準備はありませんので、ご注意ください。

～乗船中の注意～

甲板上で	○甲板へ出る場合には必ず複数で出てください。また、必ずライフジャケットを着てください。 ○落水のおそれがありますので、手すりには絶対に腰掛けしないでください。 また、手すりから海側には身を乗り出さないでください。 ○甲板上は滑りやすくなっています。走ったり跳んだりしないでください。 ○甲板上の機器に手を触れないでください。 ○立入禁止の場所には立ち入らないでください。 ○ゴミは必ず持ち帰ってください。 海上に投棄することも固く禁止します。 ●本船は練習船ですので、遊覧船のようなベンチや自動販売機等の設備はありません。あらかじめご了承ください。
船内で	○船内では、絶対に走ったり跳んだりしないでください。船は金属でできていますので、体をぶつけると大変なケガをするおそれがあります。 ○防災上、出入り口の敷居が高くなっています。必ずまたいで通ってください。 また、天井やかもいも低くなっていますので、頭上に注意して移動してください。 ○階段が急になっています。必ず手すりを持って階段を上り下りしてください。 ○立入禁止の場所には立ち入らないでください。 ○ゴミは必ず持ち帰ってください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について

現在、以下の条件付きで受け入れています。ご協力、よろしくおねがいたします。

- 1 乗船日 2 週間前から 2 週間後までの健康チェックを実施してください。
発熱や風邪症状がひどい場合はご遠慮下さい。

- 2 乗船時に①から③を確認します

チェック内容 ① 体温

② 味覚、嗅覚の異常

③ 風邪症状

上記 3 項目のうち、1 項目でも該当があれば、
該当者及び御家族は乗船をご遠慮下さい。

- 3 乗船中

(1) 乗船時には、マスクを着用してください。

熱中症対策優先で、状況を見て対応します。

(2) 乗船時には、必ず備え付けのアルコール消毒を行ってください。

(3) 船内各所では、備え付けの消毒を適宜行ってください。

(4) 船内見学中及び食事中は、大きな声での会話を控えてください。

(5) 3 密（密集、密接、密閉）とならないように人数制限を設けます。

(ア) 出入港時待機場所

①プロムナードデッキ（退避集合場所） 30名まで

②コンパステッキ（操縦室屋上） 15名まで

③全通甲板（上甲板） 片舷10名程度

(イ) 航海中

①ブリッジ（操縦室）内は10名までとする。

②生徒食堂、サロンは密を避ける。